

# 仙台の新しい学術文化拠点づくり

## — 東北大学の新しいキャンパス構想 —



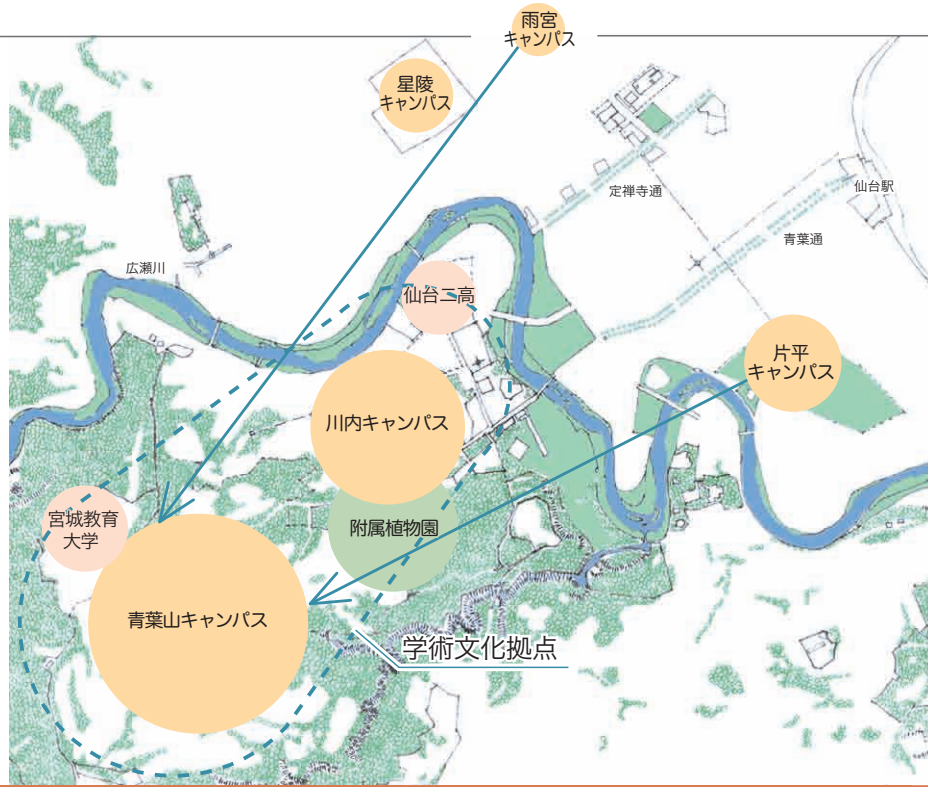


# 青葉山・川内地区への学術文化拠点づくり

仙台市は「仙台21プラン（H10.2仙台市基本計画）」の中で、青葉山地域に「高度な学術研究機能、歴史的資源などの集積を生かした仙台の都市個性を象徴する国際学術研究・交流拠点を形成する」として、下記の方針を掲げています。

- ・東北大学などの学術研究機能の集積とその産業化支援機能の強化を促進する。
- ・広瀬川の環境を保全し、また、仙台城良櫓復元整備などの青葉山公園整備事業の推進や、博物館、国際センターなどの活用促進などにより、文化・交流機能の充実を図る。
- ・東西交通軸構想を推進し、都心や他の拠点との連携の強化を図る。<sup>\*1</sup>

<sup>\*1</sup> 仙台都心～青葉山間が9分で連絡できると想定されています。（H10.11 仙台市東西線パンフレットより）



## 総合的で学際的な教育 研究環境の整備をめざ します

分散した教育研究施設を集積することで、基礎科学と応用科学、そして人文社会科学と自然科学が有機的に連携した統合キャンパスづくりをめざします

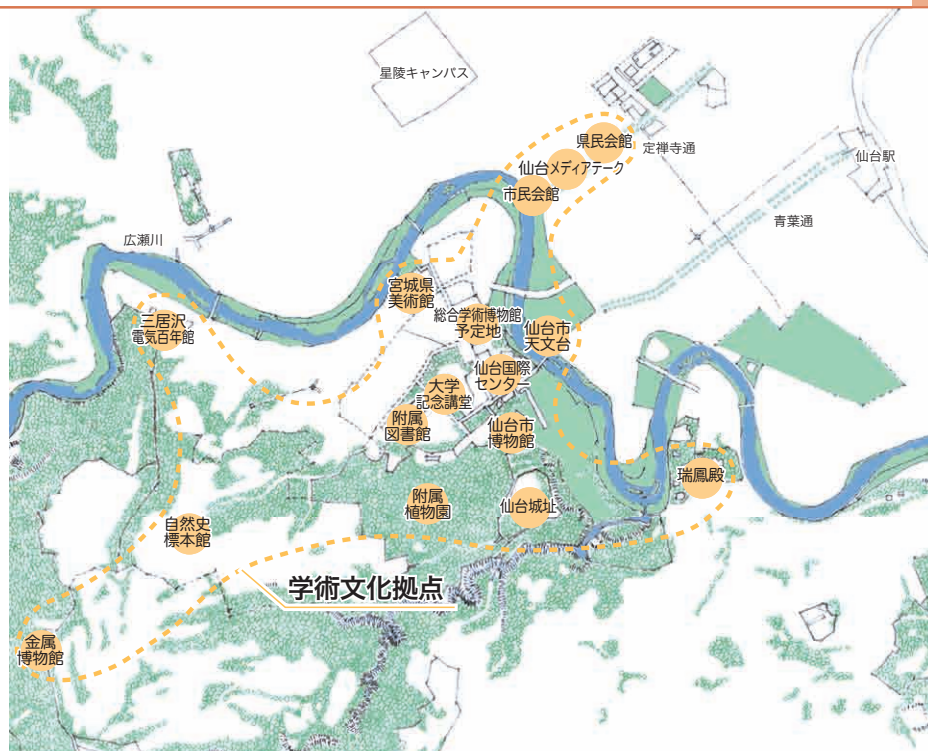
## 1 学術

Principles of Academic Environment

## 2 文化

## 広瀬川沿いに集積する 各種文化機能の総合化 を推進します

附属図書館、大学記念講堂、附属植物園などの既存施設と共に、新たな文化施設として総合学術博物館を整備します



**東北大学は** 今日の地球規模の諸課題に対処するため、人文社会科学と自然科学の融合を図り、世界的水準の学術研究および教育の拠点大学としての基盤整備を行います。

具体的には、青葉山学術文化拠点への教育研究施設の集積を図る<sup>\*2</sup>とともに、文化機能の総合化、地下鉄駅周辺のコアづくり、緑のネットワークづくりといった総合的な拠点整備を、仙台市等と歩調を合わせながら、実現していきたいと考えています。そして、これらの実現を通じて、潤いに満ち活力に富む地域の形成と国際社会に貢献する大学づくりを目指したいと考えます。

<sup>\*2</sup>「青葉山県有地への東北大学キャンパスの早期移転を求める請願」が平成8年6月の宮城県議会で採択決定されました。

## 地下鉄東西線駅周辺に生活・文化のコアを整備します

学生・教職員の生活のみならず、市民の文化活動を支援するコアを駅周辺に整備し、様々な交流の図れる、アクセシビリティの高い学術文化拠点をめざします



生活

3

Principles of Academic Environment

自然

4

## 緑のオープンスペースを拡充・整備します

青葉の森緑地、竜ノ口渓谷、附属植物園、仙台城址、青葉山公園、広瀬川河畔などの自然環境の保全に寄与し、また大学をユニバーシティパークとして整備することによって、既存の緑とのネットワークを拡充・補完します





## 自然環境の保全と 資源の有効活用

- ・ 杜の都仙台の重要な緑地帯である青葉山一帯の自然環境との調和に努めます
- ・ キャンパスをユニバーシティパークとして整備し、既存の緑を保全すると共に、新たな緑の創出・育成に努めます
- ・ 青葉山環境保全懇談会（学外の有識者で組織された諮問機関）の提言<sup>\*3</sup>の具体化に努めます
- ・ リサイクルと省エネルギーに配慮したシステムを導入し環境への負荷を最小にします

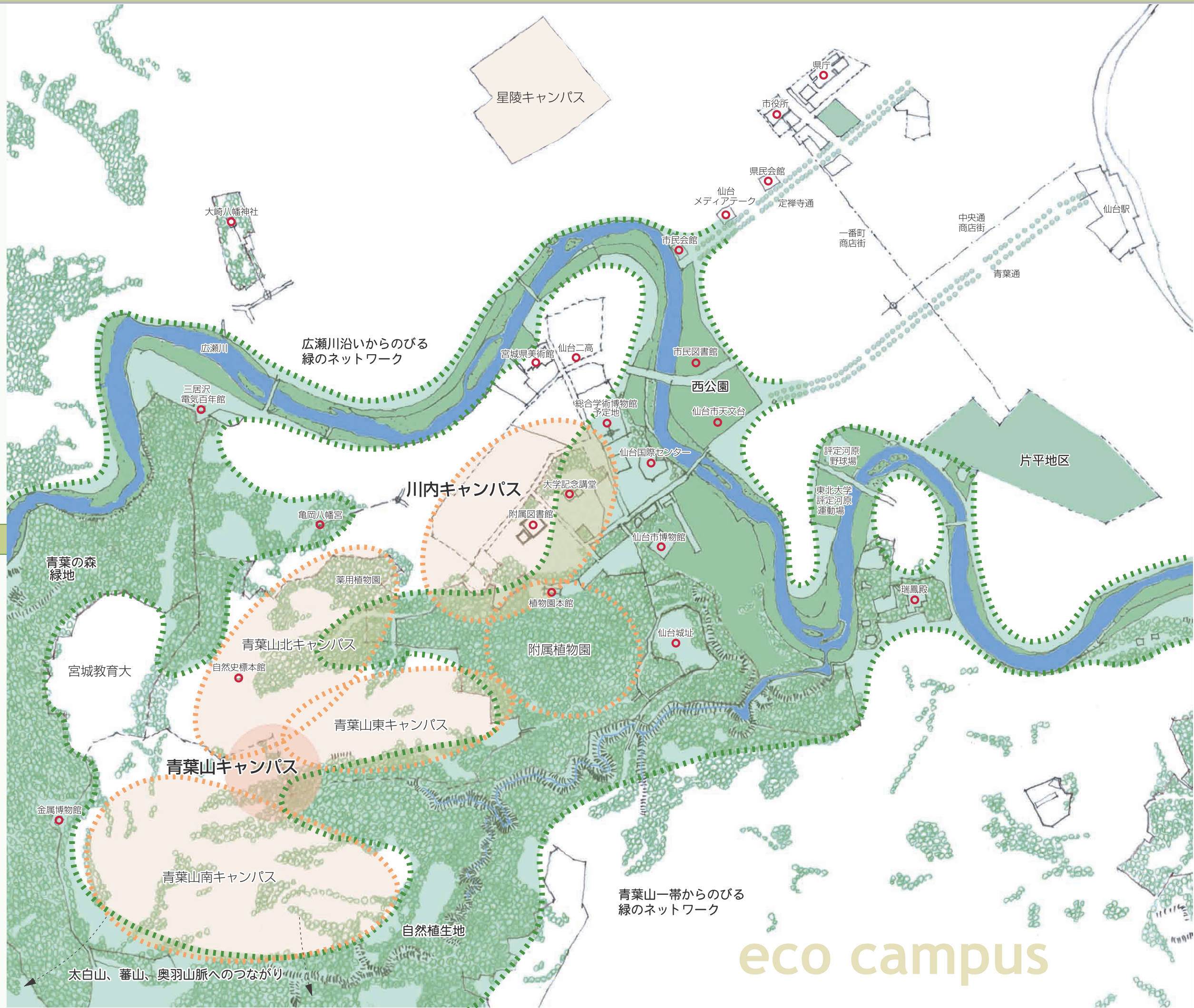
<sup>\*3</sup> 平成8年7月「東北大学青葉山キャンパス憲章」として[緑の創出、景観の維持、環境の保全、キャンパスの開放]についての提言をいただきました

# 1

## Policies of Campus Design

— 凡例 —

-  緑のネットワーク
-  ユニバーシティパーク（東北大学キャンパス）
-  周辺の主要施設



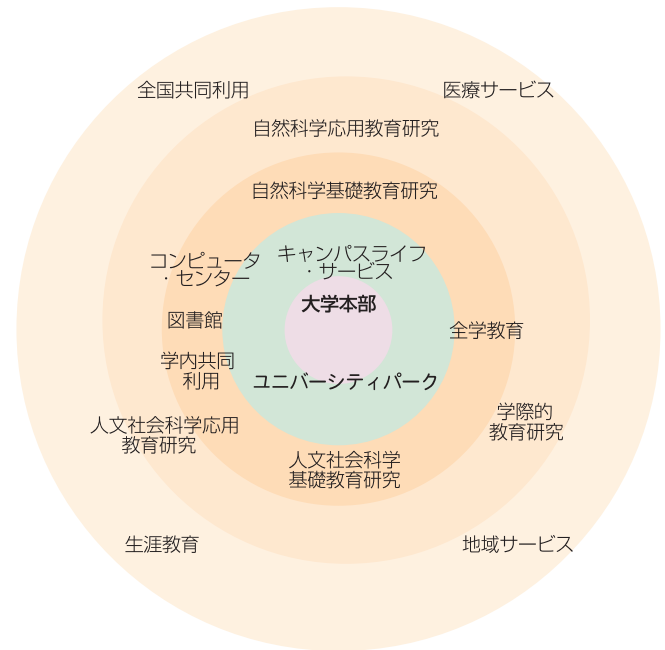
eco campus



## コンパクトで一体的な 交流の深まるキャンパス

- ・人文社会科学および自然科学の枠を超えた有機的に関連した施設配置とし、新しい機能の創出に努めます
- ・地形・地勢を生かした土地利用とし地下の活用及び自然との共生を図ります
- ・敷地の有効活用を可能とするため、一体的総合的に使用・管理する方向で検討します

## compact campus



## 2

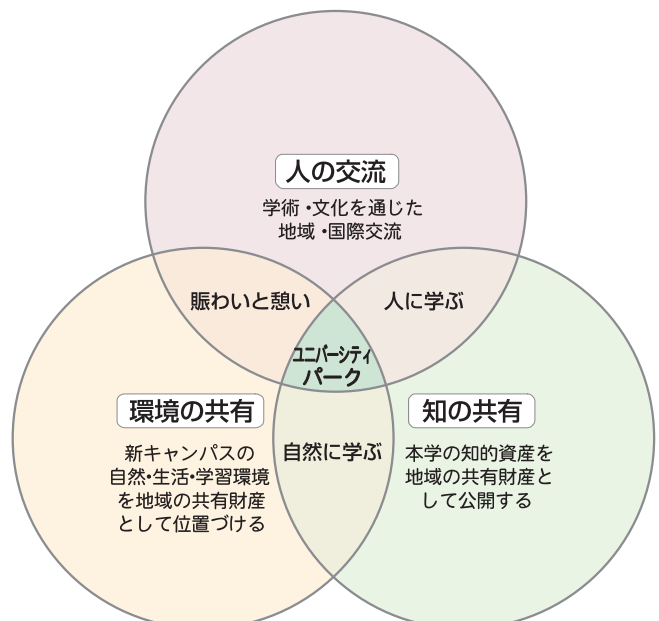
### Policies of Campus Design

## 3

## 地域社会に開かれた キャンパス

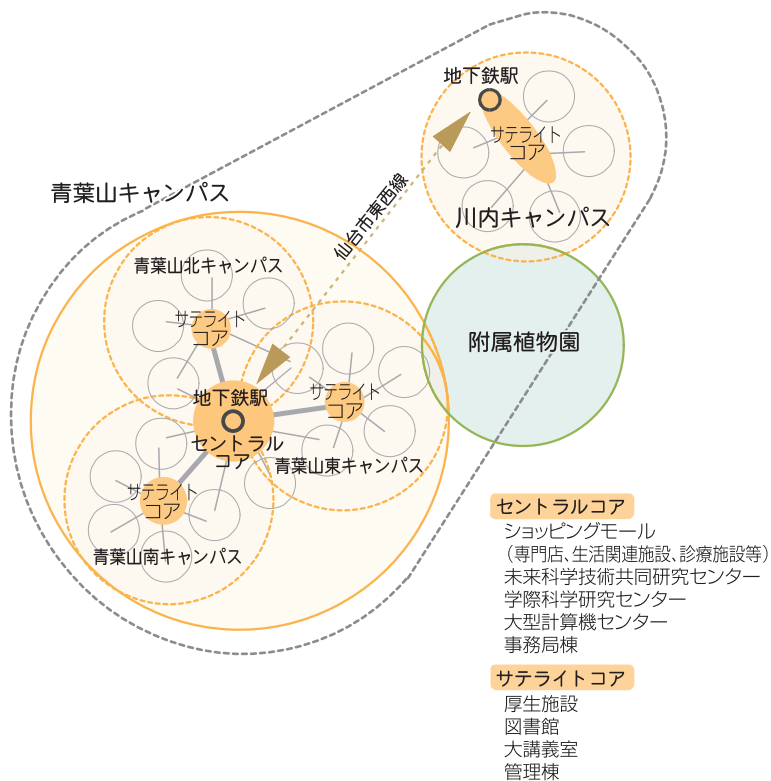
- ・市民、学生、職員がともに交流し、憩うことができる場として、緑地帯、水辺散策路、ショッピングモール等を整備します
- ・生涯学習の場として、地域社会の課題の発見やその解決への取り組みを支援します
- ・市民、産学官との多様な関係の発展のための整備を図ります

## open campus





# human campus



## 世界の若者が集うヒューマンな生活コアづくり

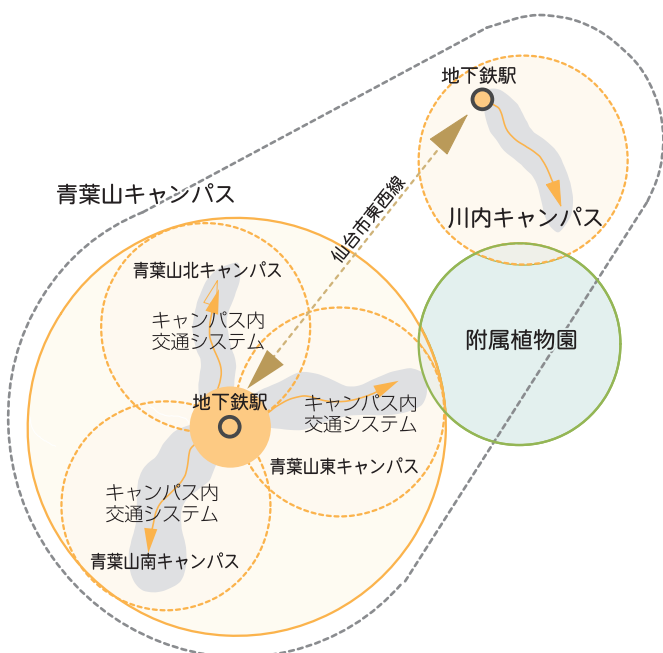
- ・キャンパス全体の中心としてのセントラルコアと各キャンパス内のサテライトコアによって構成され、様々な交流を図ることのできる場とします
- ・市民、学生、研究者等が情報交換を行うための交流施設、文化・スポーツ施設、ファカルティクラブ、オープンスペース等を整備します
- ・国内外から訪れる多くの研究者のために、宿泊施設を含めた国際水準の生活環境を整備します
- ・留学生が安心して勉学・研究に専念できるような環境の整備を図ります

4

Policies of Campus Design

5

# accessible campus



## 公共交通を利用した歩いて楽しいキャンパス

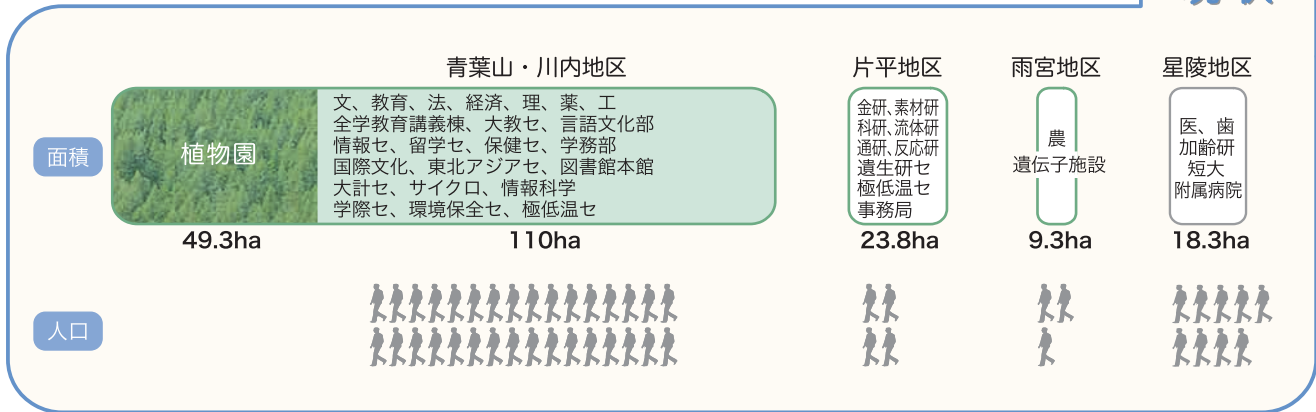
- ・キャンパスは、公共交通機関を積極的に活用するモデルキャンパスとして捉えます
- ・仙台市東西線を学生・教職員の日常の「足」として、また地域社会との連携・交流および市民開放などの相互メインアクセスとして位置づけます
- ・東西線と一体となったキャンパス内交通システムの実現を検討します



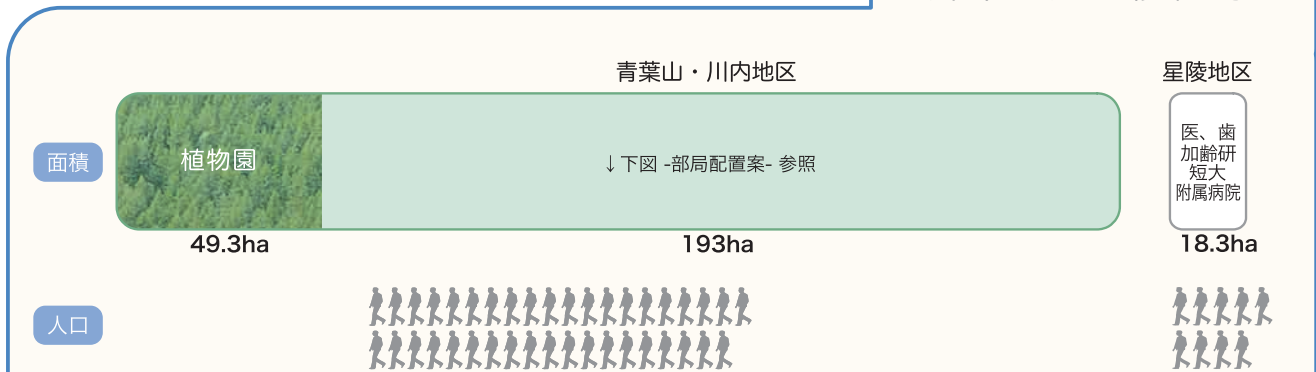
# 片平・雨宮地区移転によるキャンパスの変化

(上段：キャンパス面積、下段：キャンパス人口 / 人 ……500人)

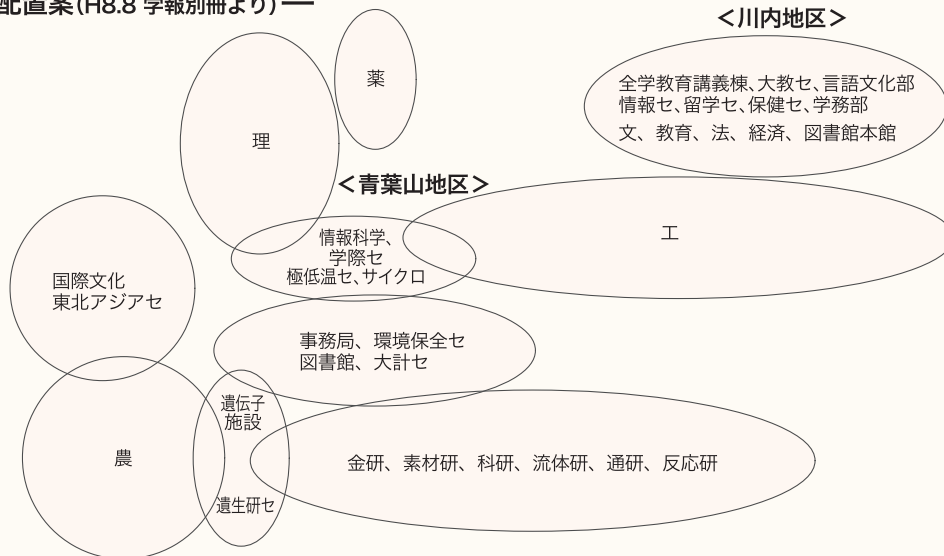
## 現状



## 片平・雨宮移転時



### — 部局配置案 (H8.8 学報別冊より) —



新キャンパス構想等に関し、ご意見・ご要望をお寄せください。

## 東北大学 移転整備調査室

〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1番1号

TEL 022(217)5581~2 FAX 022(217)5584

E-mail campus@bureau.tohoku.ac.jp

新キャンパス構想等については、下記のホームページでもご覧いただけます。

ホームページアドレス=<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/campus/>